

岡慎一プロジェクトチーフアドバイザーがベトナム「国民健康貢献賞」受賞
(2023年11月24日)

本プロジェクトも最終年度を迎えた中、プロジェクトチーフアドバイザーの岡慎一・国立国際医療研究センター(NCGM)エイズ治療・研究開発センター(ACC)名誉センター長の功績に対し、ベトナム保健省は「国民健康貢献賞」授与を決定、その受賞式が行われました。同賞は、ベトナムの保健医療分野において傑出した功績を残した国内外専門家に送られるもので、岡先生の長きにわたるベトナムの保健医療分野、特にHIV/エイズ治療・予防成績の向上に寄与した活動が高く評価されたものです。受賞式にはベトナム保健省 Tran Van Thuan 副大臣、保健省 HIV/エイズ予防局(VAAC)Phan Thi Thu Huong 局長、国立熱帯病病院(NHTD)Pham Ngoc Thach 院長他多くのベトナム側関係者、日本側は在ベトナム日本国大使館・佐々木一等書記官や JICA 事務所・プロジェクトの多くの関係者が参加しました。保健省副大臣より徽章・表彰状が授与され、岡先生は「ベトナムの HIV 感染対策は世界に誇れる素晴らしいもの、その一助になったのであればこれ以上の喜びはない」と受賞の辞で述べられました。



保健省副大臣から表彰を受けて記念撮影
ベトナム保健医療分野における最高峰の功労勲章です。



日越外交関係樹立 50 周年にも触れつつ、日本との友好協力関係を強調された Thuan 副大臣スピーチ、心のこもったものでした。

岡慎一 NCGM・ACC 名誉センター長は、日本の HIV 感染症における診療の改善や新しい治療法開発のための臨床研究、国内外の多施設との技術協力・共同研究の促進など、多大な貢献をされた日本の HIV/エイズ分野の第一人者です。早くから国際協力にも積極的で、NCGM と NHTD を始めとしたベトナムとの協力の歴史は 2005 年にまでさかのぼり、これまでに数々の共同研究プロジェクトを通じ、ベトナムの HIV 診療、HIV 感染者への支援を実施されています。岡先生は、これら国際研究協力を開始当初からリードされ、その功績がベトナム側にも認められ、今回の表彰に至りました。



JICA-SATREPS プロジェクト
ベトナムにおける治療成功維持のための“bench-to-bedside system”構築と
新規 HIV-1 感染阻止プロジェクト



研究協力覚書（MoU）を結んだ保健省 HIV/エイズ予防局
Phan Thi Thu Huong 局長と NCGM・ACC 岡名誉センター長



最後にはアオザイ姿で華やかに一枚
プロジェクト一同にとっても励みとなる式典でした

また、この機会に併せ、NCGM・ACC は保健省 VAAC との研究協力覚書（MoU）に署名しました。これまでの長きにわたる NCGM・ACC とベトナムとの協力、そして岡先生のベトナム保健医療への貢献は、更に続いていくことが期待されます。本プロジェクトとしても大変誇らしい今回の受賞、これを励みにプロジェクト最終盤も全力で取り組んでいきたいと思います。